

## 決算概要

### 学生支援の取組み

(2019年度決算資料より)

本学では厳しい財政状況の中、経費の節減・自己収入の増加に努め、学生に対する教育に必要な経費を確保し、積極的に教育サービスを提供しています。

#### ■学生一人当たりの教育に要する経費（年額）

**152万円**

学生等の教育に関する経費（約81億円）÷学生数（附属学校園除く）（5,312人）≒152万円/人

学生の負担する授業料（535,800円）の外に、一人あたり年間約100万円が運営費交付金等により賄われています。

#### ■授業料の免除

**4億6,756万円**

経済的理由によって、授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、授業料の全額、半額又は一部（4分の1）を免除しました（前後期計2,152人）。

#### ■学内ワークスタディ実施経費

**959万円**

学内ワークスタディとは、学生に対する一定の教育的配慮の下、学内の諸業務（例：大学行事の補助、新入生への履修相談、図書館での時間外窓口業務、構内清掃等）に従事し、報酬を得ることで、経済的負担の軽減、学習の深化、就業体験機会の付与等を図る事業です。

#### ■北海道教育大学基金による育英事業（奨学金給付）等

**666万円**

平成18年に『北海道教育大学基金』を創設しました。ここで得られた寄附金を原資とする奨学金の給付や海外留学に係る渡航費用の一部補助等、本学独自の経済的支援を行っています。

国立大学法人

### 北海道教育大学統合報告書2020 ダイジェスト

Hokkaido University of Education Integrated Report 2020 Digest

<https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info/financial-report.html>



### ステークホルダーの皆様へ

北海道教育大学では、これまで本学の決算情報について解説し、理解を深めていただくことを目的に、毎年度の決算承認後「財務レポート」を発行してまいりました。この度、これまでの財務レポートに、教育・研究・社会貢献等の非財務情報を追加した「統合報告書」を、初めて発行いたしました。作成にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が開示しているフレームワークや民間企業、他大学の作成事例を参考としており、本学の現状を皆様により広くご理解いただけるよう作成しております。今後も、内容の拡充、追加等を行い、更に充実した統合報告書を目指してまいりますので、皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております。この報告書が、本学の現状と取り組みに対するご理解の一助となることを願っております。

## 明日を支える〈記憶〉になろう。

あの時、伝えてくれた言葉。

あの日、与えてくれた安心。

いつも、感じていた応援。

明日に向かって背中を押してくれた人。

どこかであなたを待ってる人がいる。

誰かの明日を支える記憶。

先生に、なろう。

### 沿革

昭和24年、北海道第一師範学校、北海道第二師範学校、北海道第三師範学校及び北海道青年師範学校を包括し、国立大学として発足。令和元年、創立70周年を迎えました。

### ビジョン

#### 人間と地域の成長・発展を促す大学

— 北海道の21世紀を切り拓く教員と地域人材養成 —

「地域に貢献するとともに、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する大学」として、他に類をみない個性的な大学として進化し続けます。

### 基本データ

本学は、道内5都市（札幌、旭川、釧路、函館、岩見沢）に5つのキャンパスをもち、令和2年5月1日現在、学生数5,292人、敷地面積1,144,246㎡を擁する道内唯一の教員養成大学です。

### 特色のある取組み

本学では、教育実習をより実効性のあるものとするため、教員として身に付けておくべき基礎的な知識に加え、学校現場で起こりうる様々な実践場面を想定した教育実践想定問題を作成し、学校におけるあらゆる状況に多様な方法で対応できる指導方法や教職に関する科目との関連を学び、コンピュータによる検定で理解度を確かめる、教育実習前CBT(Computer Based Testing)を全国で初めて開発しました。

### 北海道教育大学基金

北海道教育大学学生経済支援“夢をあきらめない”パッケージを発表し、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、世帯収入、アルバイト収入の激減により、大学での修学の継続に支障をきたしている学生に対して、夢をあきらめることのないよう様々な経済支援を行っています。

#### クラウドファンディングで目標金額を達成

岩見沢校では本学として初めて、クラウドファンディングによる寄附募集に挑戦しました。クラウドファンディング「旧浄化槽設備の大学ギャラリー改修計画」には、北海道教育大学基金へのご寄附と合わせて、約518万円ものご支援をいただきました。ご支援いただきました皆さまには、心よりお礼申し上げます。ギャラリーの完成に向けた今後の予定等は、岩見沢校ホームページにて報告を行います。



#### 世界の開発途上国へのへき地教育による貢献とSDGsに果たす北海道教育大学の役割

現在、北海道教育大学と公益社団法人シャンティ国際ボランティア会では協定を締結し、3年間の相互交流研修活動を実施しています。北海道教育大学による現地ラオスへの訪問指導を行い、訪問先のラオスのルアンパバーン県教育委員会・教員養成校・郡教育委員会・学校からは、それぞれ北海道教育大学が指導した内容が大変役に立つと感謝されました。今後も、へき地教育の研究成果を北海道教育大学が中心となって世界の開発途上国に普及し、SDGs実現に向けて世界の知をリードしていきます。

